

太陽っ子

かしこく
やさしく
たくましく

第7号

令和4年8月30日

大野小学校

文責 上原

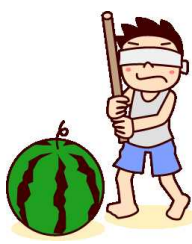
前期後半 スタート!



三十八日間の長い夏休みも終わりました。連日暑い日が続き、気温三十五度以上の猛暑日を記録する日もありました。各地で暑さによる影響がでて、熱中症に関する報道も聞かれました。

また、連日報道されていたのは、新型コロナウイルス感染症の広がりに関するニュースです。日本各地で感染が拡大し、熊本県も例外ではありません。「過去最高」という言葉もたびたび聞かれ、各ご家庭でも感染予防に utmost なら過ごされたいと思います。

そんな中、子どもたちはそれぞれに楽しく充実した夏休みを過ごすことができたようです。数年ぶりに行動制限のない夏休み。感染症に配慮しな



からも、久しぶりに開催されたイベント等もあり、子どもたちにとって、思い出に残る夏休みとなったことでしょう。地域やご家庭での見守り、ありがとうございました。

八月二十九日（月）から、前期後半が始まりました。新しいお友だちを一人迎え、全校児童二百十九人で再スタートしました。久しぶりに子どもたちの笑顔が校舎に戻ってきて、休み中静かだった学校が一気に活気づきました。やはり、子どもたちがいてこそその学校です。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大は、余談を許さない状況にあります。学校ではこれまで同様、熱中症にも配慮しながらのマスクの着用、手洗い・うがい、人との距離、換気など、感染症対策を徹底しながら、子どもたちの学習活動を進めて参ります。ご家庭でも、毎日の検温と健康観察などを継続していただきますようご理解

とご協力をお願いいたします。夏休み明けの「全校集会」では、次の2つのことを子どもたちに話しました。

一つめは、「目標を持ってやり抜く」です。夏休み中もそれぞれに目標を立てて過ごしたと思います。休み中に成長し、力をつけた子どもたち一人一人が、更に自分の可能性を伸ばし、輝いていくために、勉強や運動面、生活面で自分なりの目標を持って頑張



って欲しいと伝えました。そして、自分の立てた目標は、「きつい」「めんどくさい」と思う自分に負けずにやり抜き、自信につなげて欲しいと思います。

二つめは、「周りのことを考えて行動する」です。夏休み中は、家で自分の思うように過ごすごうができたかもしれませんが、しかし、学校ではたくさん



の友だちと一緒に勉強したり、活動したりします。みんなが楽しく、気持ちよく過ごすごうができるように、時間を守ることや周りの人のことも考えた言動を心がけていきましょう。それ

が、落ち着いた生活や思いやりのある行動へと繋がっていきま

す。と伝えました。

前期後半も「㊦落ち着き ㊧思いやり ㊨のびのび」を合言葉に、一日一日を大切にしながら、自分の好きなことや得意なこと、がんばりたいこと、ちょっと苦手なことにもどんどん挑戦して欲しいと思います。そして、一人一人のよさと笑顔が輝く大野小学校にしていきたく思います。

保護者・地域の皆様には、今後もご支援、ご協力をお願いいたします。

お世話になりました

八月二十一日（日）の美化作業、大変お世話になりました。夜間に降った雨の影響もあつた中、予定時間をオーバーして作業をしていただいたおかげで、学校再開に向けて環境が整いました。ありがとうございました。

